

令和6年度
入園のご案内
～さくら幼稚園のあいうえお～



あかるい

いっぱいあそぶ



うたっておどって



えがいっぱい



おもいやり



学校法人 麻生学園



さくら幼稚園



福岡市東区城浜団地1-29 ☎ (092) 662-8679



本学園 建学の精神



麻生学園創立者、前理事長、前学長、教育学博士 麻生 繁樹 書
「至心」とはまごころのことです。

すべての物（人）に慈悲、慈愛の心をもって接するという教え
職員一同、建学の精神を受け継ぎ、誠心誠意、お子様の教育に努めております。



「育ての心」序より(倉橋 惣三選集より)

自ら育つものを育てようとする心。それが育ての心である。
世にこんな楽しい心があるか。それは明るい世界である。
温かい世界である。育つものと育てるものとが、互いの結びつきに於て相楽しんでいる心である。
育ての心。そこには何の強要もない。無理もない。育つものの偉きな力を信頼し、敬重してその
発展の途に遵うて(したごうて)発達を遂げしめようとする。役目でもなく、義務でもなく、
誰の心にも動く真情である。
しかも、この真情が最も深く動くのは親である。次いで幼き子等の教育者である。
そこには抱く我が子の成育がある。
日々に相触る子等の生活がある。
斯うも自ら育とうとするものを前にして、育てずしてはいられなくなる心、それが親と教育者の
最も貴い育ての心である。
それにしても、育ての心は相手を育てるばかりではない。
それによって自分も育てられてゆくのである。我が子を育てて自ら育つ親。
子等の心を育てて自らの心も育つ教育者。
育ての心は子どものためばかりではない。親と教育者とを育てる心である。

「育ての心」より ～小さき太陽～

よろこびの人は、子どものための小さき太陽である。明るさを傾かし、温かみを伝え、生命を
力づけ、生長を育てる。見よ、その傍らに立つ子どもらの、熙々として輝き葉映ゆるを。
なごやかなる生の幸福感を受け充溢れているを。

〈中略〉希わくは、子どもらの為に小さき太陽たらんことを。

この文章の中の小さき太陽とは、保育者のことです。『子どもらにとっての希望となるような、
太陽のような存在であってほしい』という願いが込められています。私たち職員は、いつも誰にでも
平等に照らしてくれるお日様のように、惜しみない愛情を子どもたちに注ぎ、生きる力の根っこを
育て見守る存在でありたいと思っています。

※倉橋 惣三・・・1882～1955 日本の幼稚園保育の指導的立場で活動し続け日本の
のフレーベルと言われた「日本幼稚園協会」の創設者
育ての心を持ち、ご一緒に相楽しみましょう。



本学園の教育目標

- ・土の中で小さな根っこは大きく根を張り（幼児期）
- ・やがて芽を出し大きな幹となり（児童期）
- ・枝葉を広げ咲かせ（青少年期）
- ・やがては立派な実をみのらせる（社会人）

望ましい人間形成

幼児教育はしっかりとした根っこを育てます

①基本的な生活習慣を身につける

- ・物を大切にする
- ・約束や決まりを守る
- ・人に親切にする
- ・挨拶をする
- ・あとかたづけ
- ・衣服の着脱

- ・責任感
- ・自主性
- ・自省心
- ・協調性

②情緒の安定

- ・子どもらしさ
- ・やさしさ
- ・同情心
- ・がまん強さ
- ・気力
- ・明るさ
- ・落ち着き
- ・素直さ
- ・いとおしさ

- ・情 操
- ・愛 情
- ・慈 愛

③道徳性の芽生え

- ・助け合う
- ・公共物を大切にする
- ・譲り合う
- ・自分の物と人の物との区別
- ・人に親切にする
- ・感謝する

- ・自主性
- ・責任感
- ・根気強さ
- ・自省心
- ・向上心
- ・公正さ
- ・指導性
- ・協調性
- ・同情心
- ・公共心
- ・積極性
- ・自立心

④知的発達への芽生え

- ・意欲、意志
- ・知識
- ・やる気（根気強さ）
- ・驚き
- ・見たり、聞いたり、試したり、扱ったり

- ・積極性
- ・創造力
- ・工夫力
- ・記憶力
- ・行動力
- ・向上心
- ・指導性
- ・自立心

⑤土づくり（家庭・社会・幼稚園）

- ・しっかりとした根っこが大きく育つよう、家庭と幼稚園が手を取り合って協力しましょう。

さくら幼稚園の概要

学校法人麻生学園は福岡市南区に本部を置き、福岡県内には姉妹幼稚園が10園あります。本園は3番目の幼稚園として、昭和47年に開園しました。開園以来51年を経た今、約3100人もの園児が巣立ち、親子2代での園生活を経験していただき、また社会人として活躍していただいておりますことは、この上ない喜びでもあります。

さくら幼稚園は団地に囲まれています。近隣には城浜小学校・城浜公民館・城浜公園・百年公園があり、静かな環境の中で、地域の皆様に見守られ安心して過ごしております。

- 1、本園は学校教育法第1条に基づくものであり、幼・小・中・高・大学と系統教育の一環をなす幼稚園（学校）です。
- 2、本園は幼児の心身の調和的な発達の特徴を培い、個性の芽生えを助長し、豊かな感性と慈愛の精神を養い心と体の健全な発達に重点を置く幼児教育の実践の場です。
- 3、幼児の心身の発達とその特性に応じた生活を展開するために必要な施設、設備も整った幼稚園です。
- 4、「教育は人なり」と言われるように本園はすぐれた教師により、常に絶えざる研究と実践が行われ、愛と感謝の教育理念に基づいた教育を行っています。
- 5、本園の教育課程は幼児の心身の調和的発達の実情を考慮すると共に、家庭及び地域の実態や特質を加味したものであり、指導方法としては年齢別、クラス割の指導を主としています。
- 6、本園は2年、3年、4年間を通した教育計画に基づき、年長（青組）・年中（赤組）・年少（桃組）・満3歳児（たんぽぽ組）を主体とした教育を行っています。
- 7、園休日は土曜、日曜、祝日（行事を行う事もあります。）です。その他、夏・冬・春期の休み及び、園で定めた日となっています。毎月、第2水曜、第4水曜は午前保育11:30降園です。（園行事を行なうこともあります。）
- 8、本園は教育実習生を受け入れており、学生と園児が触れ合う教育実習の現場でもあります。
- 9、私立の進学校として「麻生学園小学校」があります。麻生学園小学校は学校法人麻生学園及び麻生文教学園の麻生学園グループの学校です。受験をご希望の方は園長推薦ができますので、お申し出ください。

幼稚園はどんなところ？

幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。

学校教育のスタートは幼稚園から

○「学校」というと小学校からと思いませんか。幼稚園も学校教育法に基づく「学校」です。
3歳から小学校入学前までの子どもは、全国どこでも共通の教育課程に基づく教育が受けられます。

○学校教育法第1条（文部科学省）

「この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。」と、学校教育法・第1条に規定されています。
幼稚園は、学校教育法に基づく幼児教育を行う学校です。従って、管轄は文部科学省です。

「遊び」は重要な学習です

○幼稚園は、遊びを大切にした教育を行っています。

この時期に思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が豊かになるといわれています。

○このため、幼稚園では、小学校以降の教育と異なり、教科書を使わず、「遊び」中心の活動を行っています。これらの「遊び」は、「国語」や「算数」などと同じように子どもの将来にとって重要な学習なのです。

小学校以降の学習の基盤は幼稚園で作られます

○幼稚園の「遊び」と小学校の「国語」や「算数」などは、一見何のつながりもないように見えるかもしれませんが、しかし、子どもは、幼稚園で様々な遊びを通して、うまく人とかわれるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気付いたりすることで、小学校以降の学習の基盤をつくっているのです。

幼稚園の目的

◎学校教育法第二十二条

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

幼稚園教育の目標

◎学校教育法第二十三条

幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとします。

1. 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
2. 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
3. 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
4. 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
5. 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

幼稚園教育要領

(平成29年3月告示 平成30年4月より施行)

小学校の「スタートカリキュラム」につなげて幼児期の教育は、教科を中心とする小学校以上の教育と違って、遊びを中心とした生活を通じて、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことが基本です。さまざまな体験を積み重ねるなかで、お互いを関連させながら、徐々に育むこととしていきます。そこで、5領域を維持しつつも、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、以下の事項を示しています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



幼稚園教育要領（5領域）

5領域は、子どもの発達を「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」という5つの側面から捉えたものです。

1. 健康・・・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
2. 人間関係・・・他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う。
3. 環境・・・周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
4. 言葉・・・経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
5. 表現・・・感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

さくら幼稚園のめざす幼児像

げんき

えがお

なかよし

○子どもは、遊びの中から「生きる力」を育みます。
＜こんな子どもに育てたい＞

子どもは遊んだ分だけ 明るくなれる
子どもは遊んだ分だけ 大きくなれる
子どもは遊んだ分だけ やさしくなれる
子どもは遊んだ分だけ 我慢強くなれる
子どもは遊んだ分だけ 知恵がつく

道灌山学園保育福祉専門学校校長 高橋系吾先生語録より

○知性（知）、感情（情）、意志（意）のバランスのとれた心豊かな子どもを育てます。

知
芽をのばす

創造力・判断力
想像力・思考力

色々な事柄に興味を示し、考え、工夫し、ためし、のびのびと表現する。

情
養う

感謝と慈愛の心
うるおいのある心
美しい心・
豊かな情操（夢）

美しい心、優しい心を持ち、友だちと仲良く協力し合う。常に感謝の気持ちを持ち、素直に心から「ありがとうございます。」と言える。

意
身につける

がんばる力（根気）
生き生きと行動する力
健康でたくましい力

心身共に健全で強い意志を持ち、明るくのびのびと行動する。

年間教育目標とねらい



1学期
適応の時期



2学期
発展の時期



3学期
充実の時期



満3歳児の年間目標

- ・新しい環境に親しみ、年上の友達や保育者に見守られている安心感を持ち好きな遊びを楽しむ。
- ・基本的な生活習慣を身につけ、のびのびとした園生活を送る。

3歳児の年間目標

- ・園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でしようとする。
- ・基本的な生活習慣が身につき、自信を持ってのびのびと行動する。
- ・進んで異年齢の友達と関わり、信頼感や愛情を持って活動に取り組む。

4歳児の年間目標

- ・異年齢の友達と刺激を受け合い、思いやりや協調性を持って相手の気持ちを受容する。
- ・いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友だちとの関わりを広げる。
- ・身近な環境に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりする。

5歳児の年間目標

- ・主体的に活動に取り組み、友だちを認め合ってグループ遊びが進められるようになる。
- ・年長としての役割を自覚し、意欲的に活動する中で年下の友だちとのかかわりを深め思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
- ・自然や身近な事象に興味・関心を持ち、好奇心や探究心を高めていく。
- ・就学に向けて目標を持ち、自覚と自信を持って行動する。

★お子様の発達、療育等に関してご相談がある場合は、必ず入園前にご相談ください。

さくら幼稚園の特色ある保育内容

<育ちの心をサポートします>

• 身近な自然との関わりを通して生命を大切にすると心や感謝、思いやりの心を育てます。

• 各行事への参加体験を通して夢を育み創意工夫しながら意欲を持ってやり遂げる力や表現力を育てます。

• 園庭での固定遊具遊びや砂遊び、室内・外での運動遊び、伝承遊び等を通して、丈夫な身体や自発性、社会性を育てます。

• 日々の生活を通して、「おはようございます」「ありがとう」等の挨拶を進んで、身の回りのことは自分でする等の、基本的な生活習慣を身につけます。

<楽しいことがいっぱい>

○麻生フェスティバル（年長児のみ参加）

子どもたちの夢を大きく広げ、心のふれあいを大切にと願い、麻生学園の幼稚園（10園）の園児・職員が一堂に会し、楽しい麻生フェスティバルを毎年開催しています。

○誕生会

毎月誕生会を行います。お友だちの前で、一人一人、何歳になったかを紹介します。みんなに祝ってもらうことで、大きくなることへの喜びを感じます。

○保育時間内の活動

体育教室

（年長児対象）1月頃より年中児開始

幼児体育専門の指導者による体育指導を全学年対象に行っています。

マット、跳び箱、鉄棒、ボール、縄跳び等を学年に応じたカリキュラムで身体を動かす楽しさを経験します。

英語教室（年中・年長児対象）

9月より年少児対象

セイハ英語学院の外国人と日本人講師のチームティーチングにより、わかりやすく楽しい指導が行われます。（月謝1,000円程度）



○保育時間外の活動（希望者のみ）

スポーツクラブ

（年中・年長児対象）

あじさいスポーツクラブ専任コーチによる指導です。（週1回 月曜日）

スイミング教室

九産大スイミングスクールです。

園にバスが迎えに来ます。

（週1回 金曜日）

※各教室の詳細は入園後にご案内のお手紙が出ます。

楽しい昼食

給食（月・火・木・金曜日）

温かいご飯をついで食べる日やカレーライスの日、パンメニューの日もあります。

カロリー計算されたバランスの取れた給食です。食物アレルギーのお子様については、除去食の対応もありますので、ご相談ください。



ご家庭からのお弁当（第1・3・5水曜日）

ご家庭からの愛情たっぷりなお弁当は、欠かせません。

※給食やお弁当は、園行事や急遽休園になった場合等により曜日が変動することがありますので、ご了承ください。

預かり保育

なかよし広場（預かり保育）

働くお母様が安心してご利用いただける預かり保育を実施しています。無償化2号認定を受けたお子様を優先しております。春休み・夏休み・冬休みもお預かりいたします。（土・日・祝日は休み）

○時間・・・降園後～17:30（長期休暇中は、8:30～17:30）

○月極費用・・・月額13,000円（冷暖房費700円を別途徴収）

○1日のみ・・・1日 1,300円

預かり保育を利用される無償化2号・3号認定の方には、利用実態に応じて、月額上限11,300円の範囲内で無償化の給付が受けられます。

親子教室

ひよこ広場（子育て支援親子教室）

千早幼稚園に入園される方を対象に、5月～2月までの月3回程度保護者の方とお子様を対象とした教室です。来年幼稚園の入園予定の方には最適な教室です。

○入会金・・・3,000円（入会時のみ）

○月額・・・2,000円

○保険料・・・500円（年間分）

施設・設備

安全対策

不審者防止の為、防犯カメラの設置、電気錠門、モニター付きインターホンで訪問者を確認しています。

毎月、防災・地震・不審者等のいずれかの訓練を行っています。

緊急のお知らせの場合は、コミュなびアプリを活用しています。

通園バス送迎

大型バス1台で送迎しています。

バスには、ドライブレコーダーをつけ、安全を第一に考えて運行しています。また、車内には安全装置を設置しております。乗務員は子どもが車内に残っていないか確認をしながら後部にあるブザー音を消します。

冷暖房完備

冷暖房を各保育室に導入し、心地よい環境の中で子ども達が過ごせます。

傷害総合保険

損保ジャパン24時間傷害総合保険

全園児、傷害総合保険に加入していただきます。

幼稚園内は勿論のこと、幼稚園外の事故も保障

されます。また、行事参加時の保護者の傷害保障をします。

さくら幼稚園の楽しい1日



登園（徒歩通園とバス通園）

- ・ 順次登園
- ・ 持ち物の片づけや着替え
- ・ 出席ノートのシール貼り

8:30~

自由遊び（戸外遊び・室内遊び）

- ・ 外で鬼ごっこ、ボール遊び、砂遊び等
- ・ 室内でブロック、ままごと遊び等

9:45

朝の会

- ・ 歌、朝の挨拶、出席確認、体操等

10:15

主活動（各クラスで色々な活動）

- ・ リズム遊び・歌やカスタネット奏、楽器遊び
- ・ 折り紙やお絵かき等制作遊び
- ・ マット、ボール、縄跳び等の体育遊び

10:30

昼食

- ・ 給食（週4回）
- ご家庭からのお弁当（週1回）

12:00

自由遊び（戸外遊び、室内遊び）

- ・ 外で鬼ごっこ、ボール遊び、砂遊び、集団遊び等
- ・ 室内でブロック、ままごと遊び等

13:00

帰りの会

- ・ 着替えや持ち物の準備
- ・ 絵本や紙芝居を見る
- ・ お帰りの歌、お帰りの挨拶

14:00

降園（徒歩通園とバス通園）

- ・ 順次降園

14:20~

よくある質問 Q&A



Q.1人で着替えや食事ができません

A.年少児 桃組（3歳児）は衣服の着脱が出来るように練習をしておきましょう。また、食事も楽しんで食べられるように、ごちそうさまの挨拶まで座って待つことやお箸、スプーンフォークが3本指で持てるように練習をしておきましょう。たんぽぽ組（満3歳児）はお子さまに合わせて練習していきます。

Q.トイレトレーニングをしていません

A.年少児 桃組（3歳児）はパottyで登園をお願いしています。園では1時間前後に1回、みんなでトイレに行く時間を決め習慣づけています。ご家庭でも入園に向けて、トイレトレーニングのご協力をお願いします。たんぽぽ組（満3歳児）はオムツでも大丈夫です。（徐々にパottyへ移行します。）

Q.給食のアレルギー除去食はできますか？

A.お子様の状態に合わせて対応ができます。但し、医師の診断書と給食業者からお渡りするアレルギーカルテが必要になり、除去食の内容について栄養士さんが事前聞き取りを行ってから開始となります。

さくら幼稚園の年間行事

※ 身体測定、お誕生会、防災訓練は、毎月行っております。

※ ● は、保護者参加の行事です。



- 入園式
(満3歳児・年少児)
- 進級式
(年中児・年長児)




- 運動会
- 芋ほり遠足




- 個人懇談
- 歓迎遠足
- 交通安全教室




- 保育参観
- 麻生フェスティバル
(年長児)



- 歯科検診
- 親子デー (参観日)
- 水遊び



- 音楽発表会
- クリスマス会
- 2学期終業式
- 冬休み



- 夏まつり (七夕会)
- 音楽発表会
- 1学期終業式
- 年長わくわくデー
- 夏休み



- 冬休み
- 3学期始業式
- 作品展
- 個人懇談



- 夏休み
- 夏季保育



- 豆まき会
- ひなまつり発表会



- 2学期始業式
- 観劇会



- お別れ会
- 卒園式 (年長児)
- 修了式
(年中・年少・満3歳児)
- 春休み

< 保護者サポーター >

- ・ さくら幼稚園では保護者会としての活動はありません。
- 年間行事の中で必要な行事のみ、保護者の皆様にお手伝いさせていただきます。
- 「出来る人が出来る時に出来ることを！」で保護者サポートしていただいています。
- お父さん達結成のさくらファミリーサポート隊があります。

幼稚園バスについて

- 枠の中が送迎バスの大まかな運行範囲となっています。尚、現在のコースが基本にはなりますが、年度によって変更もあります。
- 子どもたちの乗車時間短縮と保育時間確保の為に遠方には行けません。
また、遠方に限らず道幅が狭いと離合が難しく事故につながる可能性もありますので、道路状況によっては大きな道路まで出てきていただくこともあります。
- コースの詳細についてご不明な点はお相談ください。

バス運行範囲区域

香椎照葉方面・香椎浜方面・名島方面・千早方面・千早西方面



バスや車について、よくある質問

- Q 通園バスのコースは毎年変わるのですか？また、どこまで行っているのですか？**
- A 例年コースは大きく変更はしませんが、卒園で行かなくなった所や入園により新たな場所に行く所もあります。
少しでも早く幼稚園に到着し、朝の遊びが充実できるよう何度も試運転を重ね、最終的には、3月下旬～4月上旬までに決定し、コミュナビの「バスナビ」より時刻を確認していただけます。
バスが運行しない区域もありますので、ご相談ください。
- Q 通園バスのバス停変更はできますか？**
- A バス停の乗降場所は原則として同じバス停でお願いしています。
- Q 自家用車での通園はできますか？**
- A 駐車場がありませんので、基本的には出来ません。
幼稚園の正門前は駐車禁止です。
自家用車での送迎については、園で決めたルールでご協力いただいています。詳しくは園にお尋ねください。
行事等は、状況に応じて園庭に駐車可能な時もありますので、事前にお知らせしています。

コミュなびアプリについて

さくら幼稚園では、「コミュなびアプリ」を導入しています。

コミュなびアプリをインストールしていただき、お手持ちのスマートフォンやパソコンで幼稚園からの緊急連絡やおたより、お知らせ、行事の日程等を見ることが出来ます。

また、保護者からの欠席や遅刻早退等の連絡申請等、様々なことが出来るアプリです。

通園バスを利用される方は、バスがどこにいるのか、どのバス停を通過したかをリアルタイムでバスの運行状況を確認出来ます。また、当日バスを利用しない時も乗車キャンセルをアプリで簡単に申請出来ます。

「コミュなびアプリ」の利用について

名簿センター・・・園児情報や保護者情報を登録していただきます。

出欠申請なび・・・欠席、遅刻、早退、連絡、預かり保育の申請ができます。

ぎゅっとなび・・・行事予定、園だより、学年のおたより、給食献立表等のお知らせが確認できます。

また、お子様の成長の記録（身体測定の結果）、活動記録では、保育風景をアップした画像を見ることが出来ます。

連絡なび・・・緊急のお知らせ、行事等の予定変更のお知らせが届きます。

バスなび・・・スクールバスの運行状況確認、当日乗車しない場合の変更申請ができます。

幼児教育・保育無償化について

幼児教育・保育無償化の給付を受ける為には、施設等利用給付に関する認定が必要です。

<無償化保育料部分>

- ・無償化の対象児は、3歳から5歳児（年少・年中・年長児）です。
- ・満3歳児（たんぽぽ組）においては、満3歳の誕生日前日から対象です。
- ・保育料部分のみが対象となり、実費徴収の費用（通園バス費、食材費、行事費等）は、無償化の対象外です。
- ・保育料月額上限額は25,700円です。保育料が上限を超える差額は保護者の負担となります。

<無償化副食費部分>

- ・次の要件に該当する園児については、副食費についても無償化の対象となります。
幼稚園で提供している給食の副食費（食材の主食以外の費用）の給付対象は、満3歳児から5歳児です。生活保護世帯または里親、年収360万円未満相当の世帯、ひとり親世帯、在宅障がい児がいる世帯の一部の子、満3歳から小学校3年生までの児童を3人以上養育している世帯となります。
※福岡市の第3子優遇事業による対象者は、3歳から5歳児で、18歳未満の児童を3人以上養育している世帯となります。

<無償化預かり保育部分>

- ・預かり保育利用料の無償化の対象は、3歳から5歳児（年少・年中・年長児）で、「保育の必要性がある」と福岡市の認定を受けた方となります。ただし、住民非課税世帯については、満3歳から対象となります。
- ・満3歳児（たんぽぽ組）の誕生日を迎え、第2子以降のお子様（多子世帯）で「保育の必要性がある」と福岡市の認定を受けた方も対象となります。

○無償化の手続きの流れ

- ①入園料納金後、福岡市からの申請に必要な書類をお渡しします。
 - ②提出期限内に申請書類を幼稚園に提出していただくと、4月より幼児教育無償化制度の認定が受けられます。
- ※満3歳児のお子様は、誕生日を迎えてから認定が受けられます。誕生月前に必要な書類をお渡しします。

令和6年度 園児募集要項・入園時にかかる費用

1. 出願資格及び募集人員

学 年	資 格
満3歳児（たんぽぽ組）	令和 3年4月2日～令和 4年4月1日生まれ
3歳児 年少（桃組）	令和 2年4月2日～令和 3年4月1日生まれ
4歳児 年中（赤組）	平成31年4月2日～令和 2年4月1日生まれ
5歳児 年長（青組）	平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ

2. 入園願書配布及び受付・面接・納入金について

入園願書配布 令和5年10月2日（月）より

平 日：9：00～17：00 ※日祭日、土曜休み

入園説明会 令和5年10月2日（月）

園の教育方針・保育内容について説明します。

受 付：10：00～10：15 説明会（10：20～11：20終了予定）

持参する物：幼稚園プロフィールと入園のご案内（受付時にお渡しします。）

上履き（親子共）

入園願書受付 令和5年11月1日（水）
～11月28日（火）まで

平 日：8：30～17：00 ※日祭日、土曜休み

持参する物：入園願書・入園料

※入園料の返金は一切出来ませんので、その旨ご了承ください。

※駐車場はありませんので、近くの有料パーキングをご利用ください。

※入園願書記入については、記入見本をご覧ください。

※お子様の発達や療育等に関してのご相談は、必ず入園願書受付前に
お願いします。